

ONもOFFも楽しめる沖縄

沖縄尚学高等学校附属中学校 1年生 津嘉山 理子

沖縄といえば、青い海、白い砂浜、青い空の日本のハワイとよばれる南国リゾートを誰もが思い出すでしょう。

残念ながら、私はハワイに一度も行ったことがないのですが、テレビなどで見るハワイはきれいな海や白い砂浜、青い海があり、少し沖縄に似ていました。

そんな世界有数の観光地ハワイに、去年初めて、沖縄の観光客数が上回ったそうです。その話を聞いて、私は、「それじゃ、沖縄も世界有数の観光リゾート地じゃない?。」と、嬉しくなりました。しかし、よく調べてみると、滞在期間や消費金額がハワイは約十七万円に対して、沖縄はその半分にも満たない約七万円でした。

そこで、私は、なぜ、ハワイよりも観光客数が多いのに、滞在期間や消費金額が少ないのか、疑問に思いました。そして、その疑問を解決するために、沖縄とハワイの違いや共通点を私なりに調べてみました。

まず、沖縄とハワイの共通点は

①人口がほぼ同じ。②緯度もほぼ同じで亜熱帯気候。③主な作物はさとうきび、バナナ、マンゴーなど。④本土から遠く離れた島。⑤主な産業は、観光業とサービス業。異なる点としては、面積が沖縄の七倍ということでした。

このことから、地理的環境では、沖縄とハワイはとてもよく似ていて、疑問を解決する答えは見つかりませんでした。しかし、よく調べてみると、沖縄とハワイの観光的要因の違いを見つけることができました。

ハワイにはオフシーズンがなく、沖縄にはオフシーズンがある、ということです。

つまり、ハワイは年中、南国リゾート気分を楽しめるが、沖縄には冬があるため、年中、南国リゾート気分を味わうことはできません。そこで、私は、オフシーズンに観光客が楽しめる観光産業を企画すれば、滞在期間や消費金額もハワイに負けないのではないかと考えました。

そこで、冬でも沖縄を楽しめるものはないかと考えた時、私の祖母の家から見えるものを思い出しました。それは、世界遺産にも登録されている首里城です。実は、この首里城、アメリカのCNNテレビ関連のウェブサイトで「訪れる人が多い宮殿や城、TOP10」の十位に見事ランクインしていました。日本国内唯一の城だそうです。そんなすごい城が沖縄には、他にあと4つもあることがわかりました。そこで、私は、提案します。

首里城以外の4つのグスク「中城城、座喜味城、勝連城、今帰仁城」を復元した、「世界遺産をめぐる歴史ツアー」です。

首里城のように、4つの世界遺産のグスクを復元させます。庶民の衣装をした人や、生活道具、植物にいたるまで、できるだけ復元できるものは復元させます。まるでタイムスリップしたかのように。そうすれば、京都のようなむかしの伝統文化を味わうことができます。それは、日本人だけでなく、外国人観光客も楽しめる他のリゾート地にはない、沖縄のオリジナリティー溢れた観光産業につながると思います。

この5つのグスクは、沖縄の全島に広がっています。一つ一つのグスクをテーマパークのように、一日丸ごと楽しめるようにすることで、全グスクを巡るために、滞在日数も増えることでしょう。5つのグスクでしか購入できない関連グッズを作れば、観光客の滞在日数に並行して、消費金額も増えると思います。

このように、「オフシーズンでも楽しめる沖縄」をどうアピールするかが、今後の沖縄の観光発展につながっていくものだと、私は強く思います。

沖縄の冬にスポットライトを当ててみると、色々なアイデアが浮かんできます。例えば冬限定の海のイルミネーション、グスク巡りであっても、冬限定の夜のライトアップなど、沖縄のオリジナリティーを活かした企画が次々浮かんできます。

このように、グスク巡りや、冬限定版の企画をたくさん考えることで、これまでにない沖縄をアピールでき、オフシーズンでも楽しめるようになることで、沖縄は世界有数の観

光リゾート地になるのではないのでしょうか。

さあ、みなで楽しもう！レッツエンジョイ、オールシーズン沖縄。